

## 市長への手紙（平成28年6月分）

### 「ゴミ集積場所の清掃と管理について」

ゴミの集積場所が、捨て置きやカラス等の食い散らかしで困っています。

管理は区域住民および自治会の責任で行うことになっているようですが、ゴミネットや集積場所の整備についての負担の補助および環境衛生上の観点から場所の選定など市の基本方針や指導協力があるべきだと思います。

当地域だけの問題ではないと思いますので、カラス対策を含め、市の立場と方針を聞かせてください。

### 【回答】

集積所の設置については、自治会や集合住宅の管理者からの申請により、維持管理を申請者自らが行うことを条件としてお受けしているため、ゴミの分別・排出から集積所の維持管理までは住民の皆さんにお願いしています。

ゴミネットや集積所の整備に関する補助制度については実施していませんが、資源ごみの回収量に応じ、リサイクル報奨金を自治会等に交付していますので、こちらをご活用ください。

また、集積所の選定については、「ごみ集積場所設置許可基準」に基づき、円滑な収集活動ができ、交通上支障がないことはもちろんのこと、維持管理が地元自治会等によって適正に実施されると認められ、他から苦情が生じないと認められる場所を選んでいただくようお願いします。

捨て置き等の不適正排出については、自治会等での対応となりますが、多量のゴミや処理困難物の場合は、環境保全課までご連絡ください。

カラス対策については、カラス除けネットの設置など各自治会で対策をお願いしていますが、本市としても、カラスが集まる原因となる収集日前日からのゴミ出しの禁止や生ごみの減量化の推進など、適切な排出方法について広報やホームページで呼びかけていきます。

【担当課：環境保全課】

## 「茂原市の商工業について」

茂原市は日立が撤退してしまい、衰退の一途をたどっているのではないかと感じています。また、商店街も現在はシャッター街になっています。商店街を一斉解体し、駐車場や送迎バス完備のショッピングモールなどを作れないか？

### 【回答】

本市では、平成27年10月に「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、基本目標の1番目として「産業が力強く成長するまち」を掲げています。

まず、工業振興ですが、これまで企業の撤退もありましたが、積極的な誘致活動が結実し、「株式会社ジャパンディスプレイ」や「沢井製薬株式会社」など、国内有数の企業が新たに進出しています。また、平成29年度の方譲開始を目指し、現在造成中の「茂原にいはる工業団地」への企業立地に向け、引き続き積極的な誘致活動を行っています。

産業振興と雇用の場の創出は、地域経済の発展に不可欠であることから、進出企業をはじめ、企業間のビジネスマッチングにも積極的に取り組むとともに、中小企業支援策を効果的に展開することで、市内企業の生産性の向上や競争力の強化、地域における就労の場の充実・拡大に努めていきたいと考えています。

次に、商業振興についてですが、幹線道路沿いに大手量販店が数多く立地しており、これに相対するように、昔ながらの中心市街地の商店街は賑わいを喪失しています。

現在、本市では、「茂原駅前通り地区土地区画整理事業」により、中心市街地の基盤整備を進めていますが、商業機能や地域コミュニティなども再構築し、少子高齢化、消費生活等の状況変化への対応を図ることが重要であると認識しています。

今後も、地域住民の方々の意向や意見なども踏まえながら、ご提言のありました方策なども検討し、都市機能の増進および経済活力の向上を目指した、まちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

【担当課：商工観光課】